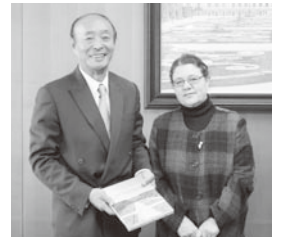


# 友好交流都市(ウィーン市13区ヒーティング)より表敬訪問

昨年12月、羽曳野市の友好交流都市(ウィーン市13区ヒーティング)との交流のコーディネートをお願いしているエベリン・ラクナー氏が羽曳野市役所を表敬訪問されました。

当日は、市長・副市長・収入役が同席し、今年の「日本オーストリア交流年2009」における親善交流のこと、来年の「友好交流都市協定提携15周年」における親善交流のこと、また、日本やオーストリアの情勢などについて話をされました。

ヒーティングより「シェーンブルン宮殿の書籍」(右写真)をいただきました。中央図書館に配架される予定です。

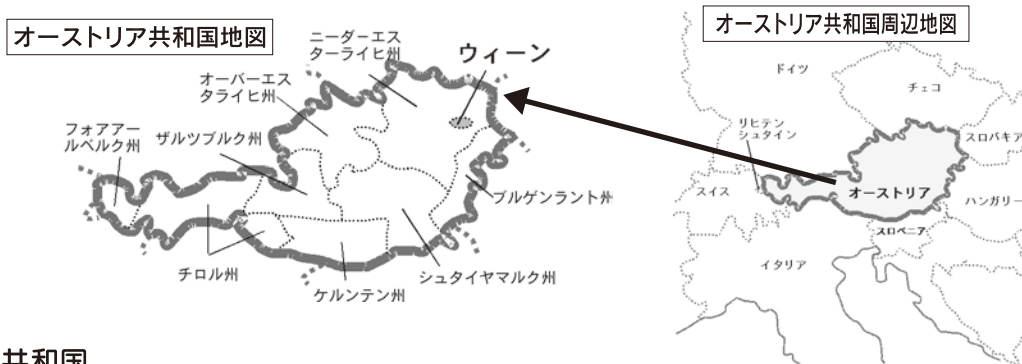


## 友好交流都市ウィーン市13区ヒーティング紹介

羽曳野市の海外友好交流都市は、オーストリア共和国ウィーン市13区ヒーティングです。

1995年(平成7年)6月27日に市民間交流および友好交流都市関係の発展、世界平和への貢献を誓い合い、世界文化遺産シェーンブルン宮殿内で友好交流都市協定を締結しました。

これまで、お互いに親善訪問を行ったり、また、市民による交流が行われたりするなど、さまざまな交流事業を実施してきました。そして月日は流れ、来年2010年(平成22年)に15周年を迎えることとなります。15周年にあわせて、市では啓発も含めて各種交流事業を実施していく予定です。



## オーストリア共和国

オーストリア共和国は中央ヨーロッパの南部に位置し、東アルプスからドナウ河流域に広がる国です。9つの州からなる連邦共和国で、人口は約823万人、大阪府の人口に匹敵します。面積は約83,000km<sup>2</sup>で日本の約2割(北海道よりやや大きい)の面積です。夏は30度を超える日もありますが、日本と違い湿度が低いので、

しのぎやすいです。逆に冬はかなり厳しい寒さの日が続きます。

8つの世界遺産をはじめ、国土のいたるところに珠玉のような美しい歴史遺産や風景を有する、文化と自然の恵みを心ゆくまで満喫できる国です。

## ウィーン市

ウィーン市はオーストリア共和国の首都で、人口は約160万人、面積は約415km<sup>2</sup>です。古くよりヨーロッパの東西南北を結ぶ交通の要衝として多様な文化が出会い、世界に誇り高い音楽・文化・芸術の都として花開きました。また、ニューヨーク・ジュネーブに次ぐ国連都市として、国際原子力機関や石油輸出国機構などが置かれ、

年間数多くの国際会議が開催されています。

ウィーン市内の中央部にはリンクと呼ばれる環状道路があり、栄華を極めたハプスブルク家の王宮や街のシンボルのシュテファン寺院、国立オペラ座など有名な建造物のほとんどがこのリンクの周辺部に集中しています。

## 13区ヒーティング

ヒーティングはウィーン市の23に分かれている区の1つで、ウィーン市域の最も西側に位置します。街は緑にあふれ、西部はウィーンの森、その麓にはブドウ畑が広がり、ヒーティングの人々はこの豊かな緑を心から守り愛しています。

区内には世界文化遺産「シェーンブルン宮殿」やその宮殿の周りに「クーデンホーフ・パーク」をはじめとする多くの公園があり、また、病院やシルバーハウスのような社会福祉施設なども充実しています。

本年2009年(平成21年)は「日本オーストリア交流年2009」の年にあたり、羽曳野市においてもこの開催趣旨に賛同し、各種事業を実施していく予定もしています。



日本国とオーストリア共和国の絆をより一層深めるため、2006年に行われた日本とオーストリアとの間の首脳会談において、両国の外交関係開設140周年の節目に当たる2009年にさまざまな交流事業を実施することで一致しました。本年を「日本オーストリア交流年2009」として、日本やオーストリアの各地で交流事業が行われます。

日本オーストリア交流年2009では、文化・芸術、観光、青少年交流、科学技術、経済など幅広い分野における交流によって、日本とオーストリアの相互理解と、両国の結びつきをより一層深めることを目指します。